

## Releasing Agent (P100-001454)

## 1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	<b>製品識別名</b>	
	製品名	Releasing Agent (P100-001454)
	化学物質名	Dimethylpolysiloxane Fluid
	CAS 番号	63148-62-9
	EINECS 番号	割り当てられていない。 .
	REACH登録番号	割り当てられていない。 .
1.2	<b>当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途</b>	
	記載されている用途	PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	<b>供給者の詳細</b>	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	Eメール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	<b>緊急連絡用電話の番号</b>	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

## 2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	<b>物質または混合物の分類</b>	
2.1.1	<b>欧州CLP規則 (No.1272/2008)</b>	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
2.1.2	<b>指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)</b>	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
2.2	<b>表示要素</b>	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	Releasing Agent (P100-001454)
	危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
	注意喚起語	割り当てられていない。
	危険有害性情報	割り当てられていない。

改訂: 1.1 日付: 20.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険有害性情報

割り当てられていない。

## 2.3 他の危険有害性

空気存在下で温度が 180°Cを超えると製品がホルムアルデヒド蒸気を放出することがあります。ホルムアルデヒド蒸気は発癌物質の疑いがあり、吸入すると中毒を起こします。また眼および呼吸器系を刺激します。暴露限界は厳密に遵守してください。

## 3. セクション 3: 組成/成分情報

## 3.1 物質

EC 分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
Dimethylpolysiloxane Fluid	97 - 100	63148-62-9	-	分類されていない。

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類 と リスク警句
Dimethylpolysiloxane Fluid	97 - 100	63148-62-9	-	分類されていない。

## 3.2 混合物 該当なし。

## 4. セクション 4: 応急処置



## 4.1 応急処置の説明

吸入

予想外の暴露経路。本物質は不揮発性です。

皮膚接触

石鹸と水で皮膚を洗う。皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

まぶたを開けたまま、水で 15 分以上洗眼すること。目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

水で口中を洗い、200-300mL(1/2 pint)の飲み水を与える。無理に吐かせない。症状が続いた場合、医師の治療を受ける。

## 4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

知られていない。

## 4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。特定の解毒剤なし。

## 5. セクション 5: 火災時の措置

- 5.1 消火剤  
適切な消火剤 炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。  
不適切な消火剤 ウォ-タ-ジェットを使用しない。
- 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。
- 5.3 消防士へのアドバイス 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

## 6. セクション 6: 漏出時の措置




- 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 長期的な皮膚接触が予想される場合、適当な手袋を着用する。取扱い後は手を完全に洗うこと。
- 6.2 環境的予防措置 水路や下水への混入を避けること。
- 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材 漏洩物を直ちに清掃すること。残りをふき取り、安全な場所に移動すること。廃棄用の容器に移す。可能な限り、回収またはリサイクルすること。
- 6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

## 7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 長期的な皮膚接触が予想される場合、適当な手袋を着用する。取扱い後は手を完全に洗うこと。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)  
保管温度 常温の。  
保管期間 普通の状態で安定。  
混触危険物質 次のものから離して保管する。酸化剤類、酸類、アルカリ類。
- 7.3 具体的最終用途 PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)

## 8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。
- 8.2 暴露管理

8.2.1	適切な工学的管理	適切な換気を確保する。
8.2.2	個人用保護具 ( P P E ) などの個人保護措置	必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。 皮膚および目との接触を避ける。
	目/顔面の保護	液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね ( EN166 ) を着用すること。
		
	皮膚の保護	不浸透性手袋を着用すること。
		
	呼吸器の保護	通常、呼吸用保護具は必要ない。本物質は不揮発性です。
		
	熱の危険性	該当なし。
8.2.3	環境暴露コントロール	環境に排出しないようにする。

## 9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1	基本的な物理化学的特性についての情報	
	外観	透明な。粘性の液体。
	におい	無臭。
	臭いの閾値	資料なし。
	pH	確立されていない。
	融点/凝固点	確立されていない。
	初留点と沸騰範囲	確立されていない。
	引火点	ca. 299°C
	蒸発速度	該当なし。
	燃焼性 ( 固体、ガス )	非引火性。パラフィンワックスおよびワセリンは着火すると燃焼します。
	上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
	蒸気圧	<0.1 mmHg at 20°C
	蒸気密度	確立されていない。
	相対密度	0.96 g/cm <sup>3</sup> (H <sub>2</sub> O = 1)
	溶解度	無視してよい。(水)
	分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
	自然発火温度	資料なし。
	分解温度	資料なし。

改訂: 1.1 日付: 20.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

粘度	資料なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

## 10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態で安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態で安定。
10.3 危険な反応の可能性	有害な重合は起こりません。
10.4 避けるべき条件	融点を超える温度。
10.5 混触危険物質	酸化剤類。(過酸化物類。、塩素) 酸化剤類。、酸類。、アルカリ類。。
10.6 危険有害性分解生成物	ホルムアルデヒド, ジメチルシロキサン, メチルシクロシロキサン。

## 11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	分類されていない。
吸入	分類されていない。
皮膚接触	分類されていない。
目の接触	分類されていない。
刺激性	分類されていない。
腐食性	分類されていない。
感作性	分類されていない。
反復投与毒性	分類されていない。
発がん性	分類されていない。
変異原性	分類されていない。
生殖毒性	分類されていない。
11.2 その他の情報	なし。

## 12. セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2 残留性および分解性	データなし。
12.3 生物蓄積性	データなし。
12.4 土壌中の移動度	この物質は土壌と堆積物に吸収されることがある。
12.5 PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6 その他の有害な作用	知られていない。

改訂: 1.1 日付: 20.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

**13. セクション 13: 廃棄上の注意**

- 13.1 廃棄物処理法 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
- 13.2 追加情報 なし。

**14. セクション 14: 輸送上の注意**

- |  | ADR/RID / IMDG / IATA |
|--|-----------------------|
| 14.1 国連番号  | 運送時に危険物として分類されていない。   |
| 14.2 適切な船積み名                                     | 分類されていない。             |
| 14.3 輸送危険分類                                      | 分類されていない。             |
| 14.4 輸送危険分類                                      | 分類されていない。             |
| 14.5 環境に対する危険                                    | 分類されていない。             |
| 14.6 使用者に対する特別な注意事項                              | 分類されていない。             |
| 14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送 | 分類されていない。             |

**15. セクション 15: 適用法令**

- 15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律
- 15.1.1 使用の承認および/または制限 なし。
- 15.1.2 国の規制 知られていない。
- 15.2 化学物質安全性評価 資料なし。

**16. セクション 16: その他の情報**

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と以下の分類・表示インベントリ Dimethylpolysiloxane Fluid (CAS# 63148-62-9)

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
分類されていない。	なし。

**注釈**

- LTEL 長期暴露限界
- STEL 短時間暴露限界
- DNEL 求められた無影響量
- PNEC 推定無影響濃度
- PBT PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性

改訂: 1.1 日付: 20.10.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &  
453/2010 によれば

[www.vishaypg.com](http://www.vishaypg.com)

vPvB

v P v T : 高難分解性、高毒性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

#### 免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 ( 法的なあるいはそうでない ) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません ( 欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き )。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

#### 拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。